

■目的

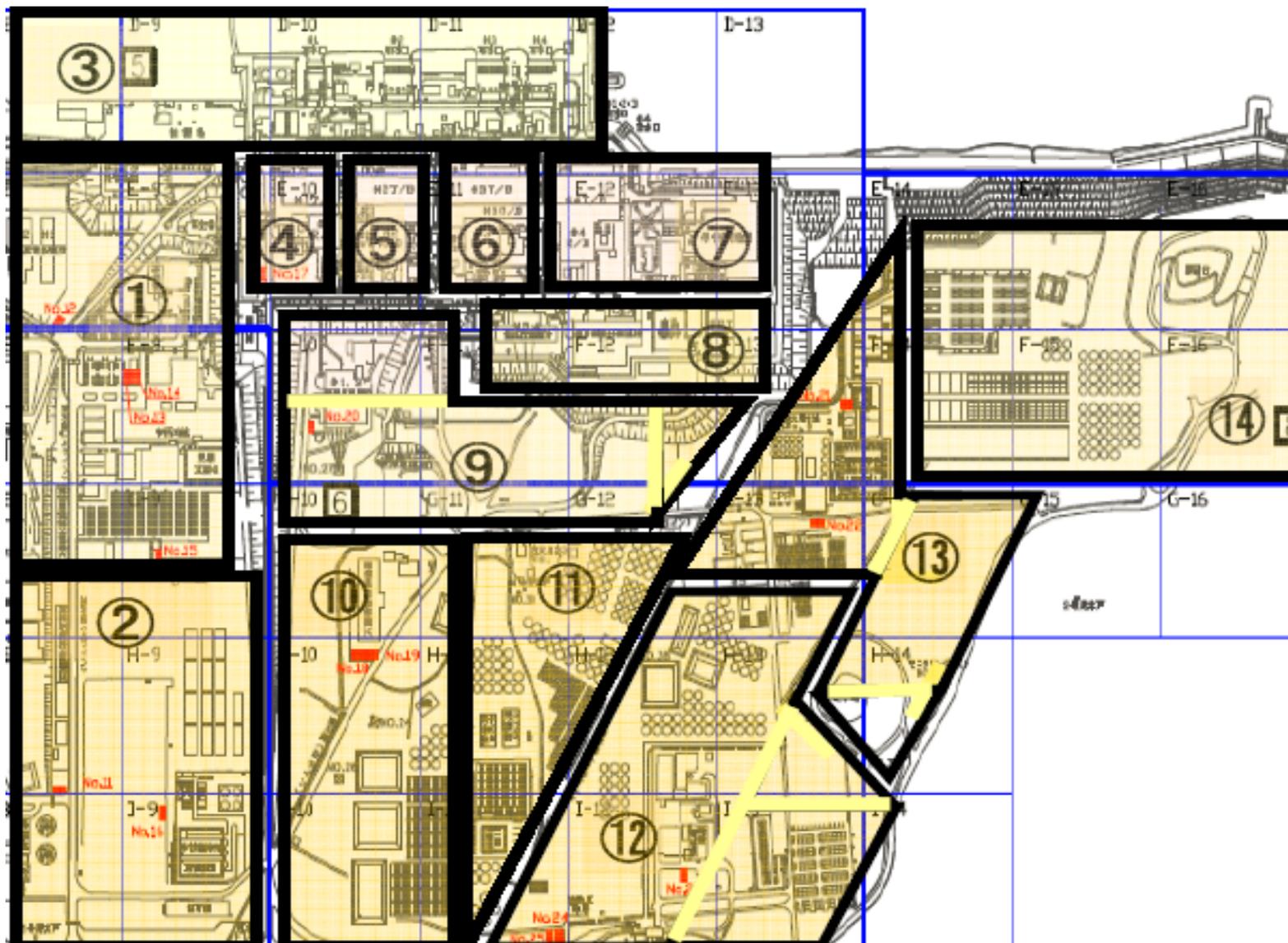
- ・当社社員による現場管理の強化の一環として、現場状況の把握を目的に、「エリアキーパー」を設置。

■エリアキーパーの役割

- ・事故後緊急で作業を行い、現状でも現場の仮設設備や工事機材の状況把握・管理が不十分である「1～4号機側・タンクエリア」に重点を置き実施。
- ・エリアキーパーは、副所長、部長、担当部長で構成。
- ・自分が担当するマイエリアをパトロールし、「何があるか」、「誰が管理しているか」、「誰が何の作業しているか」を把握・管理状況を確認。
- ・管理が不十分な場合は主管箇所には是正措置を指示。
- ・管理者の不明なものは、エリアキーパーの指示で、対応者を決定。
- ・現場作業員からエリアパトロールを認識しやすいように、目立つ外見（色付のカバーオール）にて実施するよう準備中。

実施エリア

1～4号機側・タンクエリアを以下の14分箇所に区切り実施。



	免震重要棟周辺
	多核種除去設備 (ALPS)・キャスク一時保管庫周辺
	4 m盤周辺
	1号機周辺
	2号機周辺
	3号機周辺
	4号機・プロセス建屋周辺
	共用プール・高温焼却建屋周辺
	地下水バイパス揚水井周辺
	地下貯水槽、H1タンクエリア周辺
	H2～4タンクエリア周辺
	H5,H6,Eタンクエリア周辺
	RO装置,B,Cタンクエリア周辺
	セシウム吸着塔一時保管施設,Gタンクエリア周辺

エリアパトロールの活動状況

- 5月よりエリアキーパーによる現場ウォークダウンを開始し、これまでに全14エリアで1回/週程度パトロール実施。（7月23日現在：延べ128回）
- 管理が不十分な箇所については、是正を指示し、以後、経過を確認。

エリアパトロールの様子



5月23日 1号機周辺（エリア）



5月23日 H5,H6,Eタンクエリア周辺（エリア）



5月20日 H2～4タンクエリア周辺（エリア）



7月4日 H5,H6,Eタンクエリア周辺（エリア）

パトロールにて確認する主な内容

- 現場を管理しているのは誰か
- 放置された物品はないか
- 仮置物品に仮置表示があるか
- 電源盤の扉等が施錠されているか
- 廃棄物の保管管理は適切か

等

エリアパトロールにおける主な確認結果

エリアパトロールにおける確認結果



仮置されているプラスチックタンクに仮置表示がない

(いずれも5月13日 1号機周辺: エリア)



仮置表示のない不明物品が置いてある

対応状況



仮置表示を設置
(5月20日)



後日、これらの仮置が撤去されていることを確認
(5月27日)

エリアパトロールにおける主な確認結果

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">おける確認結果</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">エリアパトロールに</p>	 <p>扉に施錠されていない (5月9日 1号機周辺: エリア)</p>	 <p>突起物が配管を損傷する おそれがある(計3カ所) (5月12日 H2~4タンクエリア 周辺: エリア)</p>	 <p>整理整頓されておらず、 仮置表示がない (5月12日 H2~4タンクエリア 周辺: エリア)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">対応状況</p>	 <p>施錠されていることを確認 (5月23日)</p>	 <p>当該部が土嚢で覆われている ことを確認(5月20日) 抜本的な対策を追加指示</p>	 <p>片付けられており、仮置表示も されている(7月4日)</p>

今後の活動予定

- エリアキーパーによる現場パトロールは、今後も日常的に継続・実施していく。
- 今後も、日々変化する現場の状況を把握し、さらなる改善に努める。
- エリアキーパーの取り組みを通じて、「管理された現場」を目指し、トラブル・人身災害を未然に防ぐ足がかりとしてまいりたい。

以上